

日時：令和5年7月11日(火) 午前10時～ 場所：大阪府咲洲庁舎
出席者：森永製菓株式会社、国分西日本株式会社、株式会社ロスゼロ、株式会社TEN-TWO、ICS-net株式会社（他県情報提供）、大阪府

【内容】

各事業者が取り組んでいるアップサイクル事例と課題について情報交換し、府内でアップサイクルフードを普及していく上での課題について検討した。

【意見、課題等】

- ・未利用食品の製品化には労力と時間がかかり、通常商品より高価になる。
- ・食品ロス削減による魅力や説得力が出せるかが重要。
- ・原材料の安定確保について、製造加工からのロス食品は可能性がある。府内製造業・飲食業などのロスを追求できないか。
- ・ロス食品をフレーバーとして加える方向性もある。
- ・経済的な成立が第1だが、行政と共に社会活動として取り組み、事例を積み上げるやり方もある。
- ・取り組みの方向性として、事業系の食品ロス削減効果が高いものを求めるか、インパクトがありPR効果の高いものを求めるか。決めた上で当面の取組目標を設定して絞り込んだ議論をしてはどうか。